

# 読書のまち・かわさき通信No.72



読書のまちかわさき

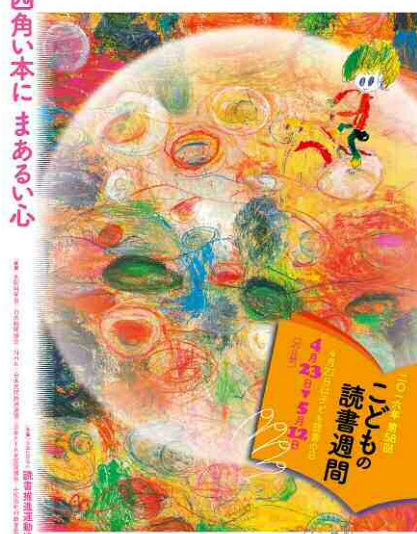
川崎市教育委員会

2016. 4. 発行

**4月23日～5月12日は『こどもの読書週間』、  
4月23日は『子ども読書の日』です**



四角い本にまあるい心



子どもたちにもっと本を、もっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は昭和34年に誕生しました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である平成12年(2000年)より現在の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日に期間を延長しました。開始当時より、図書館・書店・学校を中心に、子どもたちに本を手渡すさまざまな行事が行われてきました。特に、4月から5月にかけては、「国際子どもの本の日(4月2日)」「サン・ジョルディの日(4月23日)」などの記念日・関連イベントも多く、さらに、平成13年12月に公布・施行の「子ども読書活動推進法」に

より4月23日が「子ども読書の日」となった影響もあって、「こどもの読書週間」は年々大きな盛り上がりを見せています。

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか……。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「子ども読書の日」であり「こどもの読書週間」です。

2016年、今年の「こどもの読書週間」の標語は、「**四角い本に まあるい心**」です。

昨年度の標語募集で多数の応募の中から選ばれた落合正子さんの作品です。

落合さんは、「子どもたちが元々持っている無邪気でまんまるな笑顔、そして本を読みふわっと温まる心を『まあるい』と表現してみました。たくさんの本とふれあって優しい心がずっと続きますように。また、子どもだけでなく大人も、絵本でまんまるな気持ちになって癒されてほしいです。」と語っています。

学校教育において読書教育がすすめられています。家庭・地域での読書のすすめも非常に大切なものだと考えます。家庭における読書環境の整備については、次のようなことがあげられます。

- ① 幼児には父母が本を読んで聞かせてあげる。
- ② 短い時間でも本を読むことを勧め、子どもが本を読むのを聞いてあげる。
- ③ 父母自らが読書する姿を、子どもたちに見せる。

この読書週間が、子どもたちにとって、たくさんのすばらしい本に出会えるよい機会となることを願っています。

## 平成28年度「読書のまち・かわさき」主な事業計画

平成16年4月に「読書のまち・かわさき」子ども読書活動推進計画が策定され、川崎の読書活動推進のために継続的な事業を展開してきました。今年度も川崎の子どもたちの読書環境向上に向けて様々な活動を行っていきたいと考えています。

- ★全市図書ボランティア研修会（作家等の講師をお呼びしての講演会）  
第1回7月5日（火）中原市民館・第2回1月17日（火）中原市民館  
・全市の図書ボランティアの皆様や、市民の皆様どなたでも参加できます。
- ★かわさき読書週間 10月30日（日）～11月12日（土）
  - ・各学校での読書活動の推進
    - ☆ボランティアや図書委員会児童生徒による読み聞かせや全校一斉読書、また読書集会など、学校の特色を生かした取組をします。
    - ☆市内児童生徒を対象に、読書標語やポスターなどを募集します。
  - ・各区公共図書館での読書イベントの開催（読み聞かせ・おはなし会等）
  - ・読書週間ポスター・チラシ配布
- ★かわさき読書の日のつどい 11月6日（日）中原市民館
  - ・読書活動優秀団体表彰
  - ・児童生徒読書活動作品展示
  - ・作家と子どもたちとの交流 などを行います。
- ★子ども読書カレンダー配布 など  
※他にもたくさん事業を計画しています。

### 「読書のまち・かわさき」がパワーアップします！

平成26年度に学校図書館法が一部改正され、初めて「学校司書」の言葉が明記されました。それに伴い、昨年度より学校図書館コーディネーターの名称が「総括学校司書」と変更されました。従来の学校図書館コーディネーター（巡回型の学校司書）と同様の仕事内容で、区内の学校図書館を巡回し、支援していきます。

また、昨年度より、学校司書配置モデル事業がスタートしました。学校司書とは、専ら一つの学校図書館の業務に従事する方のことで、このモデル校の取組は読書のまち・かわさき推進事業の新規事業となっています。今年度は各区1校から2校に増え、ますます学校図書館の充実が期待されるところです。

「学校司書」と「総括学校司書」で、名称や取組は異なりますが、いずれも、学校図書館の活性化や子どもたちの読書活動の推進のために活動していきます。



読書のまち・かわさき